

テーマ「選挙に参加した感想」

田川科学技術高等学校 山辺 和寛

私は今年の参議院選挙に初めて参加しました。選挙に行くことは初めての経験だったのでとても不安でした。六月に学校で行われた主権者教育授業で投票の仕方や選挙のことをより深く学ぶことが出来ました。授業を受ける前は、選挙に対して全く関心を持っていませんでしたが、授業を受けたことで「選挙に参加する」ということに対して前向きに考えるようになりました。

投票日当日は家族と最寄りの小学校に投票へ行きました。初めて投票用紙をもらったときは、とても緊張して不安な気持ちになったことを覚えています。投票は一回で終わると思っていましたが、立候補者を選んだ後、政党を選ぶ投票があり、とても驚きました。投票をするということがこんなに緊張するものだとは思っていませんでした。投票を終えると緊張の糸が切れて、とても安心したことを覚えています。

投票会場は小学校の体育館でした。選挙会場の雰囲気は整然としてあり、選挙管理委員や選挙立会人など多くの人達によって運営され、選挙がどれだけ大事なことであるかを認識しました。有権者登録票が家に届き、自分の名前が書いているのを見ると選挙権が与えられたという実感が湧きました。そのため、有権者としての自覚や責任をもたなければならぬと思いました。

投票が終わり自宅に戻ると、テレビニュースで選挙による出口調査の様子などが放送されていたので、自分が投票した人物や政党がどうなったのかとても気になりました。今までは選挙が行われると、テレビもすべて選挙の情報一色になるので良い気がしませんでした。しかし、今回は投票に行ったせいか違った感覚で選挙情報を見ることができました。また、次回の選挙にも積極的に参加して自分の一票を投票したいと思います。

学校で主権者教育授業を受けて選挙について初めて真剣に考える機会をもらえたと感じています。そして政治について「もっと知りたい」という感覚が芽生えたと思います。自分に出来ることは、まだまだ少ないと思いますがニュースなどを積極的に見て政治について理解を深めていきたいと思いました。また、家族とも選挙や政治についての話を多く交わして、いろいろな人の考えと自分の考えとを比較して、より理解していきたいと思うようになりました。選挙に行ったことで一歩大人への道を歩めたのではないかと感じました。